



でらボラ NAGOYA 通信

2017年 3月号

2011年3月11日東日本大震災が発生し、多くの方が亡くなりました。名古屋近辺に住む私たちには、遠い地の出来事でした。

震災直後に、一人で被災地に向かった仲間、避難所・遺体安置所を訪れ、呆然と立ち尽くすしかなかったと語った仲間、仮設ができてから何度も訪れている仲間、現地に行きたいのだけれど・・・と言いつつ、名古屋の地で出来ることを一生懸命している仲間、そして、「一如さん」にお参りし募金をしてくださる皆さん。また、6年の時が流れても、被災し、家族を失い、ふるさとへ帰ることのできない苦しさ・悲しみを、今もなお心の奥底に抱き続けておられる方々。それぞれが出会いを大切にし、お互いの歩みを忘れないで、声をかけ続けたいと思います。

2月16日～19日福島・宮城訪問報告

16日、二本松の同朋幼稚園に行きました。



ぜんざいをデザートに提供

絵本を読み、お菓子のプレゼントをしました。お礼に色紙と手づくりの花をいただきました

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しく願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

2月の活動支援金は **30,712** 円です。たくさんのご協力をありがとうございました。



17日 相馬市大野台仮設 3月いっぱいまで閉鎖、復興住宅などへ



昭和7年生まれのおばあちゃん、3.11の時、退院直後で、家族と車三台で山形の息子さんの所へ避難、車中泊で苦しかった、その後、歩行困難になった。

入院中のおじいちゃんの行方が分からず、6月に横浜の病院にいると連絡があり駆け付けたが、亡くなっていた。太平洋戦争の時、原町にあった軍の飛行場から、若い兵隊さんが特攻に出て行った、木更津などの基地を経由して、知覧まで行ったらしい。あの時の姿は忘れられない、絶対に戦争はダメだ！と話してくださった。もう一人のおばあちゃんは、いつも明るいが、ご主人と息子さんを津波で亡くされた、相馬に住みたいのだけれど、もともとの住民しか相馬には住めないということで、原発に近い南相馬に帰らなければならない。アパート形式以外にも、一戸建ての復興住宅もある、各地に建設されているので、家族の人数や、希望によって、各地にバラバラに散っていくことになる。復興住宅で孤独死をする方がこれから増えていく懸念があるので、一軒一軒様子を見ながら尋ねることも必要になる。(報告:藤井千龍)



最後はみんなで一緒に

でらボラ NAGOYA 会員 募集中！

【入会資格】不要です

【会費】不要です(募金活動にご協力お願いします)

【申込方法】来月12日の「一如さん」の募金スタッフにお声かけください

【問い合わせ】mail:derabora758@gmail.com